

数学

京都大学[理系] (前期)

<全体分析>

試験時間	150分	解答問題数	6題
------	------	-------	----

<p>解答形式 記述式</p> <p>分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・変化なし・増加) 難易 (易化・変化なし・難化)</p> <p>出題の特徴 近年の特徴である誘導となる設問のない出題が続いている。 全問、新旧両課程の共通分野からの出題であった。</p> <p>その他トピックス [2]が文系[2]と共通問題、[5]が文系[5]と類似問題であった。</p>

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	積分法	数学III	回転体の体積を求める。	やや易
[2]	図形と計量、式と証明	数学I 数学II	四角形の 90° の内角が隣り合うときと隣り合わないときの場合分けをする。	標準
[3]	微分法、数列の極限	数学III	(2)は $a_n > n$ より $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \infty$ を示す。	標準
[4]	空間ベクトル、微分法	数学B 数学III	内積を利用する。	やや易
[5]	整式、整数、数列の極限	数学A 数学II 数学III	$\frac{f(x)}{g(x)} = (x \text{ の } 1 \text{ 次式}) + \frac{r}{g(x)}$ とおき、 r が 0 であることを示す。	難
[6]	数列、確率	数学A 数学B	漸化式を立てて解くことができる。	やや難

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

問題文を正確に読みとる力、解決への道筋を自分で考える力、考えたことを答案にうまくまとめ上げる力などが要求されている。普段からそれを念頭において学習しよう。